



高知県立盲学校グランドビジョン(R6~R8)

《高知県の教育の目指す人間像(基本理念)》

- ◆学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人
- ◆郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人
- ◆多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人

《基本目標》

- 1 確かな学力の育成と、自己の将来とのつながりを見通した学びの展開
- 2 健やかな体の育成と、基本的な生活習慣の定着
- 3 豊かな心の育成と、多様性・包摂性を尊重する教育の推進

《4つの基本方針》

- I 「高知家」の全ての子どもたちが、急速に変化する予測困難な今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進
- II 「高知家」の子ども誰一人取り残さない。多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進
- III 「高知家」の誰もが、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進
- IV 「高知家」の教育・学びの充実に向けた各種施策を総合的・計画的に推進するために、必要な基礎的・基盤的な環境・体制等の整備

*第3期教育等の振興に関する施策の大綱

*第4期高知県教育振興基本計画



《取組概要》

改訂された第3期教育等の振興に関する施策の大綱(以下、教育大綱)並びに第4期高知県教育振興基本計画(以下、教育基本計画)の内容を踏まえ、本校が課題とする事柄を精査し、学校教育目標の実現に向け、中期(3年間)、短期(当年度)の目標を定め取組を推進していく。また、教育大綱並びに教育基本計画とあわせて、文部科学省が学習指導要領に示す「生きる力」=『知』『徳』『体』3つのバランスの取れた幼児児童生徒を育成する。

《中期目標(3年間)》

- ・生きる力の涵養(「知:確かな学力」「徳:豊かな人間性」「体:健康・体力」)
- ・在籍者数2桁台を確保する。

《令和6年度》

- ◆学力の3要素を踏まえた、学習意欲を引き出す授業の実施
- ◆視覚障害による学習面、生活面における困難さの克服、改善
- ◆豊かな心・自律心・道徳心の育成
(自ら考え・判断し・行動できる、挨拶、協調性、思いやる心、感動する心、多様性、食など)
- ◆文化・芸術、スポーツ、防災関連等のコンクールや大会、会議等へのチャレンジ
- ◆盲学校の魅力発信(センター的機能の発揮)

※高知県学校安全総合支援事業

【学校教育目標】 夢に向かって「自らまなび」「社会とつながり」「たくましくあゆむ」生きる力を育てる

『視覚障害教育の専門性を発揮し、生きる力を育む確かな教育を推進する学校』

目指す学校像

- (1) 一人一人が確かな学力と専門技術を身に付け、社会参加と自立に向けて学ぶ意欲を持てる学校
- (2) 一人一人の人権が尊重され、安心して学習・生活ができる環境が整った学校
- (3) 地域のニーズに応える、視覚障害教育のセンター的機能を発揮する学校
- (4) 教職員一人一人が教育公務員としての自覚と誇りを持ち、切磋琢磨、協働しチームとして教育に取り組む
- (5) 幼児児童生徒、保護者、地域、県民から信頼、必要とされる社会に開かれた学校

目指す幼児児童生徒像

- 【知】「自らまなび」 主体的、意欲的に学び続けることができる幼児児童生徒
- 【徳】「社会とつながる」 周りの仲間とのつながりを大切にし、社会参加できる幼児児童生徒
- 【体】「たくましくあゆむ」 自ら障害に向き合い、自己実現に向けて積極的に行動できる幼児児童生徒

校訓

『友愛』『協力』『感謝』



目指す教職員像

- (1) 幼児児童生徒の可能性を最大限広げることができる教職員
- (2) 人間性豊かで信頼される教職員
- (3) 使命感と情熱をもち、学び続ける教職員
- (4) 互いを尊重し支え合える教職員



「チーム高知盲、100年目に向けて着実に歩みを進めよう!～高めよう専門性、広めよう地域・社会に～」

キーワード 「生きる力を育む『知』『徳』『体』の推進!」

I 主体的・対話的で深い学びの実現

教科及び視覚障害教育の専門性を向上させるとともに、学習意欲を引き出す授業の実施と学習評価の充実をととして主体的・対話的で深い学びによる生きる力を育成する。

II 心豊かな人間性の育成

人権教育、道徳教育の推進、文化芸術・スポーツ・健康に関する取組の充実により、生涯を通じて心豊かな生活を送ることができる力を育成する。

III 盲学校の魅力発信

理解啓発・情報発信を行い、社会に開かれた学校としての役割を果たす。また、関係機関からの情報収集を行い幼児児童生徒の確保につなげる。

IV 働き方改革の推進

仕事にやりがいを感じ、「チーム高知盲(学校)」を意識した、風通しのよい職場づくり。

具体的な取り組み

- 公開授業の実施(任意)
- 専門基礎研修グループを活用した授業研究
- 専門性チェックリストの実施と効果的な活用
- 他の特別支援学校の授業参観、協議、研修の実施(年次研中心)
- 中国・四国地区盲学校のネットワークを活用した授業の展開及び教科指導のスキルアップ
- 専門性、学習評価に関する研修会の実施
- ICTを活用した教材教具発表会の実施
- 教育課程の検討、見直し

《成果指標》

- 【教育課程・授業改善をテーマにした学部研、教科会の実施(年間6回以上)】
- 【改訂版専門性チェックリストによる確認】
- 【ICT教材教具発表会(年間1回以上)】

- すがすがしい挨拶の励行
- 人権教育、道徳教育の推進
- 交流及び共同学習の充実
- 学部・専門委員会・生徒会と連携した食育の実施
- 学校安全(3領域)の推進
- 文化・芸術、スポーツ、防災関連等のコンクールや大会、会議等への積極的なチャレンジ
- OSC、SSWとの連携

《成果指標》

- 【外部機関と連携した交流・共同学習(年間3回以上)】
- 【各学部、舎におけるSDGs・食育の実施(学期1回以上)】
- 【個別の教育支援計画に文芸または防災への取り組みに関する事項を記載(記載率100%)】
- 【児童生徒アンケートの実施(肯定的評価100%)】

- SNSを活用したホームページでの効果的な発信
- 関係機関(市町村、医師会、進路先、福祉等)との連携や、直接訪問の実施(リーフレットの配付や学校概要の説明等)
- 地域の学校や外部関係機関への研修会等の案内(新転任者研修、盲学校公開講座等)
- 地域の行事等への積極的参加
- 地域や保護者とながら学校安全に関する取組の実施
- 生徒会の学校安全に関する取組の推進
- マスコミを活用した戦略的な発信

《成果指標》

- 【関係機関や外部機関への直接・間接訪問または情報発信(年間20件以上)】
- 【児童生徒が主体となる地域への情報発信(年間3件以上)】

- 学部を超えた支援
- 学習支援員の活用
- 会議開始5分前集合
- 学習形態の工夫(T・T)
- 会議の時間設定
- 校務分掌の再編及び業務内容の見直し
- グループウェアのさらなる活用(会議前の事前連絡等)
- 行事等の実施方法の工夫
- メンタルヘルス等研修会の実施
- ノー残業デー及び警備開始時間の徹底
- 夏季休業中の一斉閉庁日の設定
- 不祥事防止等の研修の実施

《成果指標》

- 【働き方に関するアンケートの実施(肯定的評価90%以上)】
- 【風通しの良い職場環境づくり(年間2回以上の研修会・交流会の実施)】
- 【不祥事防止強化月間の設定】